**京都大学旧科学技術イノベーション創出フェローシップ**

**未来を創る先端量子技術フェローシップ（追加枠）**

**申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| **氏名** |  |

**■①申請書（全員必須）**

**１．【申請者情報】**この項目は頁数の上限はありません。

|  |
| --- |
| **業績（学術論文、研究発表、その他）**この欄は次頁にまたがっても差し支えありません |
| 以下の説明文は削除しても差し支えありません。  ・学術論文 　査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。 　著者、題名、掲載誌名、巻号、開始頁－最終頁、発行年を記載してください。 ・研究発表 　口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。 　著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。 　発表予定のものは除きます。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。 ・その他（特許、受賞等） |

**２．【研究計画】**

**(1) 研究の位置づけ**

以下の説明文は削除しても差し支えありません。

旧フェローシップ採用研究者として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

また、本項目（（１）研究の位置づけ）は１頁に収めてください、フォントサイズやカラー・白黒、レイアウトは自由です。

学振特別研究員の申請書類の内容と重複することは差支えありません。

**【研究計画】（続き）**

**(2) 研究目的・内容等**

以下の説明文は削除しても差し支えありません。

1. プログラム採用研究者として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
2. どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
3. 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。
4. 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
5. 研究計画の期間中に京都大学以外の機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

また、本項目（（２）研究目的・内容等）は２頁に収めてください、フォントサイズやカラー・白黒、レイアウトは自由です。

学振特別研究員の申請書類の内容と重複することは差支えありません。